




本日は全国的に好天に恵まれました
祝日ですので行楽に出かける方も多いのではないでしょうか
この高気圧は週末まで停滞し…
ギシ…
はぁ…もうお昼かぁ…
せっかくの休日なのに何にもしてないなぁ
ずーっと忙しかったから一気に疲れが来ちゃった感じ


起きようかな～
二度寝しようかな～
ゴろ
ゴろ
♪
別に予定もないし
丸一日ダラダラ
しようかな～
明日　疲れた顔して
出社しても、また
セクハラ言われる
だけだしなぁ
オイオイなに
ヘタレてんだぁ？
はっ　どーせ
休日もナスの野郎と
ヤリまくってたん
だろぉ？
帰ってずっとヤッてろYo!!
カーえーれ♪
カーえーれ♪
ドガ!オマエが帰れ!ドガ!
ドゴッ!
まあ　休日だけじゃ
なくてほぼ毎日
してるんだけど…
確かに　自分でも
呆れるくらい彼に
ハマっている
ヘンタイ
ちんぽ
ケツマンコ
正正正
中まで見て
でも顔を合わせて
身体に触れるだけで
いつの間にか
疲れなんか忘れて
クタクタになるまで…
そのかわり
一人になった途端
このザマなんだけど…
ナスくんには
こんな姿　見せられ
ないな～…
トン
トン

…いや

ドラマチャンネル

今日は彼のことを考えるのもお休みにして

のんびりドラマでも見ようかな

トッ

トッ

このままじゃまた会いたくなる

ねえ　あなた…抱いてよ…

そう　抱かれたくなって…激しく犯され…

ギシッ

うわっ!?

私　寂しいの…

仕事で疲れているんだ

明日も早いし勘弁してくれ

いきなり王道（ベタ）な昼ドラー！

…でも　もう何か月も…ね

キミ　そんなはしたない女だったのか？

う…ひ　ひどい…

……

仕事で疲れてるから……か

若いころは『この旦那冷たいな～』なんて思ってたけど…

今は旦那さんの気持ち　少し分かる気がする…

そして　それはきっと彼も同じ


ナス君も疲れてるはず…
年上の私が会いたいって 我儘を言うのはおかしいわよね
トクン
トクン
トクン
それに彼 付き合う前は私のことを想って毎日オナニーしてたんだもの
グチュ!
グチュ!
グチュ!
今頃もきっと あのチンカスくさい熱く脈打ってるチンポを
こすって… キンタマ揉んで… なんども精液を…
ドプッ!
ドプッ!
ドプッ!
いっぱい… 射精して……
くちゅ
くちゅ
くちゅ
あぁ…ダメ 彼の事 考えないなんて無理
だってベッドにも部屋にも…
彼のニオイが染み込んでいるんだもの
ちゅくッ
くちゅッ
ぬちゅッ
はっ
あぁ
はっ
あぁあ… ナスくぅん…♥
あっ


ああ 彼の汗ばんだ胸板
むわ…
あっ…あぁあ…っ ナスくんのニオイ…欲しい…っ♥
グチュ! グチュ! グチュ!
むせ返るチンポ臭
むわぁ…っ
引き締まったお尻の香り…たまらないっ
ビクッ ビクッ ビクッ
でも…蒸れたキンタマが…
キンタマのニオイが一番好き…っ♥
あの日 私の脳の奥まで染めてしまったニオイ…
あぁ…ホントは一日中キンタマに埋もれて過ごしたいっ
むわ…


あぁん…ニオイだけで…こ こんなにおマンコ濡れるのっ♥
ぬぢゃ…♥
ねぇ ナスくん… 見てっ そして…いつもみたいにスケベなこと言わせて…っ♥
ぞくっ! ぞくっ! ぞくんっ!
ぎゅラッ!
見てっ
まんこっ


もっと　もっと…
ナスくんのくさい
ニオイ欲しい…っ♥
チンポ便器にしてっ♥
明日から…仕事中でも
いいからっ
はぁ　はぁ…
ナスくん…して…
休日にガマンしてたら
今日　我慢できなく
なっちゃったんですか
んぅ…んっ
そ　そうよ…
我慢なんかしたら
…余計欲しくなっ
ちゃった…
ナス
八潮課長は？
ちょっと
離席を…
あぁ…見られる…
バレちゃう…っ♥
あぁあ
おっぱいの中にっ！
中に出してっ！
会社でおっぱい
チンポ便器にしてっ♥
見て…おっぱい
マンコ…見られたいっ♥


もうどこでもいいの…キンタマせーえき…♥
犯して
犯して
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ビクッ
ビクッ
男臭い精液ぶっかけて…っ♥
イクっ♥
あぁあ…イク…っ♥
ビクビク
ビックウッ!!
ブシャアッ
ブシャアッ
イックラッ♥
ビクッ!
はぁ…
はぁ…
そう…セックスしなくてもチンポの香りがあれば愛しい人を近くに感じられる
だからあの夫婦だってきっと大丈…


なんだこの間男は！
浮気しやがってええええ！
寂しかったのよ！心の隙間を埋めてくれる人が欲しかったの！
なにが心の隙間だ！穴じゃねえか！
ひどい！セクハラ！DV！名誉棄損！人権侵害！慰謝料払え！
普段からATM扱いして結局最後まで金かよ！
どうせアンタだって浮気してんでしょ！何か月もゴミ箱にセンズリの形跡一つないなんておかしいじゃないの
な　何言って
ホラ図星じゃないの！別の女の身体の穴にブチこんで出そうにしてんじゃないわよ！
被害者ヅラはてめえだろ！


ぜ…
……
バーカ！
ヒッイ!!
ギャー！
サボ師！
金の亡者
短小！
ギャー！
売女！
ギャー！
全然大丈夫じゃない…
何このドラマ…


HAHAHAHAHA
あはははなるほど
キー
何事かと。
それで緊急招集ですか


でも意外ですね八潮さんが昼ドラに影響されるなんて
ありがとう…
あどうぞコレ
うう…
私も自分にビックリしてる…
ごめんね…
でもね　自分が変わったことに戸惑うのはこれが初めてじゃないのちょっと…怖いくらい何度も…
怖い？


あなたに会いたい
ずっと一緒に
世界中であなただけ
今すぐ
心が張り裂け
切なく
ドキ
例えば恋愛ドラマやラブソングで語られるシチュエーションに
『よく分かるわ』『貴女はそうなのね』
って『他人事』に感じてしまう性格だったの
以前 話したことがあったでしょう？
私『クールでイヤな女を目指してた』って
否定はしないけど感情移入もしない
私は私。
自分は関係無い。
自分だけは絶対大丈夫――。
でも ナスくんを愛してから
未知の自分がどんどん出てきて
一気に不安になったの
未知の自分に戸惑う…ですか
「私はこういう人間」と自信を持ってた防壁が一つ崩されると
『何もかもダメかも』
『他の人がこうならもしかして私も…』
――って
連鎖的に自信喪失していく気がして…
それ 危ない宗教とか詐欺に引っかかる典型的なパターンじゃ…
マズい。
ホントそうなのよね…
『変にまじめな人』こそ逆にあぶないって聞いたことあったけど
まさか自分がそうだとは…
でも――
きっと大丈夫ですよ


ドラマを見て
『キンタマ臭があれば大丈夫なのに』って独自の価値観を持ってる一方で
どスケベな露出セックス願望があっても
実際は気軽にキスしてるところすらも見せつけたりしない
むしろ「チンポをオモチャにしないで』って叱るくらい
『変にまじめ』なところも ちゃんと残ってる
僕には未知の自分によって「何かを失っている」というより
『器が拡がっている』ように見えます
そんな貴女が大好きだから
未知の『八潮のどかさん』をもっと見たくなって
あ
ついつい変なことしちゃうんですけども
クスッ
…ありがとう


……これからもずっと…一緒に見てくれる？
どんどん変わっていく私を
もっともっと変態になっていく私を…
もちろんです
その役目　誰にも譲りませんから
……うん♥
八潮さん　お待ちかねの…くっさいキンタマですよ
あぁ…早くぅ…♥
むわぁあ…


じゃあ このまま
降ろしますよ
ギシ…ッ
あ
は
ぴと♥
あ…ま 待って
は♥
むわ…
先にチンカスフェラ
…しなくていいの？
ナスくん
あれ好きでしょ？
僕のことは
大丈夫です
今日は休んで
ください


あ…あぁ…あっ♥
おぁあ…♥
ぞくんッ
ぞくんッ
はぁあ…♥
普段のセックスでも
八潮さんは自分が
思っている以上に
僕に気を使って
くれているんですよ？
その気持ちが
嬉しいから いつもは
甘えていましたけど
今日は僕にご奉仕
させてください
ぬぢゃ
ぬぢゃ
ぬぢゃ
んっ んぅ…んっ♥
んぐっ
んぐぅ


いつもよりも優しい動き…
キンタマの柔らかさだけじゃない
身体の重さ　お尻のたくましさ…やっぱり妄想（オナニー）の彼とは全然違う
あぁあ…ナスく…ん…っ♥
あっ　はぁあ…っ
んぐ…あぁあっ
キンタマぁ…きもち…いいぃ…っ♥
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ギシ
ギシ
むわ
むわ
むわ
ずりゅッ
ずりゅッ
いつも見ていたはずなのに
感じていたはずなのに
はぁ…はぁ…♥くさい…くさいのぉ…っ♥
ぬりゅ！
ぬりゅッ！
ビクッ！
ビクッ！
あぁ…んっ♥
どちっ
どちっ
ぎゅうぅぅ…ッ！
分かっていたつもりだったからこそ
知らなかった未知の彼
はぁ…あぁ…っ♥
あぁ…不思議
ドキドキしてるのに…落ち着いていく
くた…っ


八潮さん
起きてます？
むわ…
むわ…
うん…♥
すごく…
いいニオイ…
とろん…♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
トクン♡
はーい♡
アタマもカラダも
蒸れたチンポの
ニオイでとろけて…
イッちゃいそう…♥
トクン
トクン
トクン
トロ…
トロ…
トロ…
イッてもいいですよ
はぁ…ダメ…まだ…
イキたくないの…っ♥
でも 今日はまだ
これだけで満足
しちゃいけない
せっかくナスくんが
ご奉仕してくれる
んだもの…
ナスくん…
あの…
はい？
もっと…
後ろのほうも…
お…お尻の穴も…
キンタマより
濃いところも…
顔に…載せて
欲しいの…
トクン
トクン
トクン


お願い…
肛門(そこ)だけは 今まで
言えなかったところ
近くて遠い
憧れの場所——
顔いっぱいにあなたの
ケツ穴を押し付けられて
無理やりキス…
させられたいの…♥
トクン
はぁ
はぁ


ぬばぁ…っ
あ
わかりました
——よろこんで
苦しかったら
言ってくださいね
ギシ…
無理やり犯すとはいえ
あくまで今日は僕が
ご奉仕する日ですから
む わ
む わ
え…ええ…
ゆっくり…顔…
犯して…
トクン
はぁ


はぁ はぁ はぁぁ…♥
あぁ…肛門…ナスくんの肛門…
ぐぐ…っ
ドキ
ドキ
ドキ
はッ
あ…あぁ…きた…♥
ドッ
早く…早く…舐めさせて…
うおぶ…っ♥ んぼ…ぉおっ！
ぶちゅ
ビックン!!
あぁああ すごいっ…♥ くっ…臭くて…っ いやらしいニオイ…っ♥
じゃあ動きますよ
ずりゅ
ぬりゅ
んぼっ！ んホおォおっ♥
ぬりゅ!
ずりゅん!
んほおォおおっ♥
たまらない…私…部下の男の子に…
ぬるん!
クソ穴に顔面犯されて…感じてるぅっ♥
ぬぶりゅ!
んぶっ！
んごっ♥
ぬぶりゅ!
あぁ なにこれ舌が…勝手に…っ
んほおおっ♥
にぢゃっ
にぢゃっ
にぢゃっ
止まらない 止まらないっ♥ 変態…ヘンタイぃっ！ 私っ ヘンタイすぎるよっぉおっ♥


見えるっ？
見てっ　見てっ♥
あなたの肛門…
ウンチ穴をしゃぶって
おマンコ感じてるっ♥
くあぁ　これ
最高です！
んぉっ
んぼおおっ♥
んぢゅっ！　んふっ
んぢゅるううっ♥
くあっ　これ…
ハマったら
まずいですよ
会社でも課長の
顔みただけでクソ穴
なめさせたくなるかも…


して…してぇっ！
むしろ…しないと
許さないんだから…っ
会社であなたに
命令されたい…っ♥
課長　今日は一日中
クソ穴なめるんですよ
は　はい…舐めます…
一日中　ううん…毎日…
マゾブタ上司の変態
口マンコにケツ穴
舐めさせて…ください…っ♥
く…　八潮さん
もう…っ！
私も　イク……
イクううっ！


くっ！
そのまま
口に……っ！
ぬるぬッ！
ぬばぁッ！
ぷは…あぁっ♥
きて…っ！
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ビュクッ♥
ビュクッ♥
んぁあああああっ♥
んぉ♥
んぼぉ♥
おぶッ♥
あぅ…チンポ
ちんぽぉ…っ♥
あぁ…イク…
イクぅっ♥
ドプッ！
ドプッ！
ドプッ！
すごい…私…
本物の肉便器…
もう妄想オナニー
じゃ全然足りない…
かけて♥
かけて♥
ビチャ！
ビチャ！
ビチャ！
ナマの変態精液
便器…最高…っ♥


八潮さん　今日は僕がご奉仕しますって言ったのに
結局　頑張っちゃいましたね
あは…そうね　つい
ニオイだけでもう　とまらなくなっちゃった…♥
にちゃ
にちゃ
にちゃ
にちゃ
はぁ
はぁ
あ
身体大丈夫ですか
うん…
あなたが優しく犯してくれたから気持ちよかったし
いつも以上の心遣いに身体も癒されたわ
ねばぢゃ
にぢゃっ
ぬぢゃ
ぬぢゃ
はぁ
はぁ
はぁ
八潮さんを見習っただけですよ
ふふ　そんなこと言うと自惚れるわよ♥
じゃあこのあともたっぷり自惚れてください♪
ふふ　そうするわ♥
はぁ
はぁ
はぁ


え？　本当に私は寝てるだけでいいの？
疲れならもう大丈夫だけど…
ええ　でもエステに来たつもりで今日は楽にしておいてください
キシ…
むしろこういうご奉仕セックスって以前からしてみたかったんです
いや　ご奉仕というより…マッサージセックスかな？
ズリュリュリュ…
あ…ん…ま…マッサージ？
あっ
んっ
あん
ぐぐっ
ええ　こうしてチンポ入れたまま指で…
この辺りをぐりぐりっ…と
ぐりっ
ぐりん
え…っ？あっ!?
お腹　気持ちいいですか？
ひあぁ…あああっ!!


内側と外側から…
完全に受け身だと
案外　新鮮でしょ？
うぁあ…っ　やっ…♥
グリグリって…
んひゃぁああっ！
ビクッ！
ビクッ！
ビクッ！
ぐにゅ
ぐにっ
ぐにっ
おまんこ…くにぐに
されてるぅ…ッ♥
やっ　あっ！
んひいいいっ♥
ぐちゅん！
ぐちゅん！
ぐちゅん！
あひっ♥
おぁあっ！
こ　腰の動きも…
いつもと…違…っ
どみっ
どみっ
どみっ
ぶちゅッ
ぶちゅッ
じっくり…
ねちねちって…
強く…きつく
責められてるのに
や…優しい…っ♥
ぎゅッ
ぎゅうううっ！
ぎゅむっ
あっ
ぁあ…♥
あぁあ…それ
き　きもち…いいっ♥
嘘みたい…こんなに
ゆったりしてるのに
…甘いの…っ？
なんで…こんなに
変わってたんだ
ナスくんも私と
セックスを重ねて
どんどん未知の部分が
増えていたんだ
もっと…あぁ…
おマンコ…溶かしてっ♥
ぐにゅ
ぐにっ
ぐにっ
ぐちゅッ！
ぐちゅ！
ぐちゅッ！
ギシ
ギシ
ガクガク


そういえば
野球部時代
時々マッサージして
もらってたんですよ
ダラーっと寝転がって
完全に受け身で…
あれがすごく
気持ちよくて
はぁ…はぁ…
野球部時代って…
それ…誰にして
もらってたの？
ちゃ ちゃんとした
整体師の方ですよ
男の
心配なく。
でも こんな素敵な
オッパイした女性に
マッサージされてたら
どうなってたか
分からないです
けどね♪
あっ！
あぅんっ！
ふふ 私もエステで
こんなエッチな人に
マッサージされたら…
ど…どうにか
なっちゃうかも…？


どうかって…
こんな感じですか？
ゴツン
ビクビクッ!!
ひゃうんっ?!
あれ びっくりしました？
ずるい…よぉ…
ブル…ブル…
ゆっくりセックス…するって言ってたのに…いきなり…
あはは すみません
プシャッ
プシャッ
じゃあ…また小さく小さく…たまにゴツンと
あ…んっ♥
あっ…♥
はぁ…っ♥
こういうリズム…どうですか？
ど…どうって…
くちゅくちゅ
にちゅにちゅ
ダン!
ゴン!
グボン!


フル…
はぃ
フル…
はぃ
フル…
わ わたヒ…
こんな顔してるのよ？
す…好きって言葉
以外…無いって…
分かってるでしょ…？
愚問
でしたね♪
ひっ
あぁっ♥
すぅぅぅ


もう…
もう…らめ…っ♥
ちんぽっ
ちんぽっ
じゃあイキます
一回目
グチュ
グチュ
ぐちゃん!
ぐちゃん!
お願い…
お願いよっ
出して 出してっ♥
イかせてぇっ♥
ぐちゃん!
ぐちゃん!
ズチュ
あ…ぁ…
何回…するの？
ぶちゅ!
ぶちゅ!
ぶちゅ!
八潮さんが
『もう疲れた』って
言うまでですよ
ギシッ
ギシッ
ところで…
あなたって…
ホントヒドイ人
出して…ここに♥
ちんぽ♥
ちんぽ♥
また口に…顔に…
排泄(だ)してぇ…っ♥
それじゃ終わりなんて
無いじゃないの…♥
ズル
ルルル!!


んごっ！
んごっ♥
んぶっ♥
ゴクッ♥
ゴクッ♥
ゴボッ
ゴボッ
ゴボッ
んんんん


また一つ
知らなかったこと…
ん…
はぁ
はぁ
見つけちゃった
はぁ
ずる…
ぐちゅ
ぐちゅ
こういう
セックスも…
いいですね
あっ
ぐッ
ぐッ
ぐッ
ヴリュ
ヴリュ
ヴリュ
ええ…好き…♥
優しくて…
ヒドいの…好きぃ…
あぁ
あぁあ…すごい音
コレ…すごく…
クソ穴セックスって
感じ…♥
アナルセックスで
癒されるなんて…
私　また変態(オンナ)の器が
拡がっちゃったかな…
ぶりッ
あっ　あぁあっ
きて…っ♥
せーえき浣腸…
クソ穴にチンポ
ザーメンっ！
ぶりッ
ぶりッ
へひぃ
へひぃ
ちんぽ汁
出してぇえっ♥
イグッ
イグッ
ビクビクッ!!
くあっ！


ドボォッ!!
ドプッ♥
ドプッ♥
ドプッ♥


もう一度…
おしりに…させて…
お尻に…
何をですか？
…だから…
お尻に…キス…
いっぱい汗を
かいて 射精して
さっきより
ずっと臭くなってる
お尻で…
ケツ穴で…顔を
押しつぶして欲しいの
たぷん
たぷん
たぷん
今日 一番濃い
あなたのニオイを
胸いっぱいに…
――
わかりました
でも 次の休日は
僕にその悦びを
教えてくださいね
え
僕も 八潮さんの
ように器を大きく
したいから
ドキ♡
今夜は どんどん
変わっていく貴女に
魅了されっぱなしでした
むわ…っ
はぁ…はぁ…
トクン…
トクン…





休日って
本当に大事ね

こんなにも力が
わいてきて
こんなにも心が
潤うんだもの

初めてよ——
こんなにも明日が
楽しみな休日は




休日は、ゆっくりと一人の時間を――。
ナス君と愛し合い、チンポ肉便器になるまでは、休みの日には友達と外出したり、買い物したり、一人でゆっくりと読書や映画鑑賞、カフェ巡りなんかをしていた。
でも、今は違う。
彼とのハメ撮り動画を見ながら、ずっと極太バイブでおマンコやケツ穴を犯しながら一人マゾブタプレイに浸っている。
「はぁ…あぁ…チンポ…チンポ欲しい♥くさいオスチンポ…ドロドロの黄ばんだザーメン中出しされたい…♥」
どんなに太くて大きいバイブでも、やっぱり彼のチンカスまみれのエロチンポの味には遠く及ばない。
身体中にマゾブタ奴隷の証を落書きされた自分の映像に嫉妬してしまう。
「あぁあ…ナス君…犯してぇ…♥変態セックス動画、もっと撮っていいから…おマンコもウンコの穴まで全部さらけ出して、おしっこ漏らしてイクところ…くっさいキンタマ精液飲んでるところ見て…っ♥」
いっそ、呼び出して中出しを懇願してみようか――そんな想いが脳裏をかすめる。
いや、そんなのダメ。
部下のプライベートまで奪うなんて典型的なパワハラ。そんな上司にだけはなりたくない。
「でも…声を聞くだけなら…電話するだけなら…」
いつも通り彼の優しい声でスケベな事を『言わされたい』。
私のだらしないイキ声を聞いてもらって彼にもオナニーして欲しい。
「それくらいならいいよね？　一緒に…一緒にオナニーするだけだから…♥」



電話したら、彼はオナニーどころか、すぐに駆けつけてくれた。

私のために、息を切らして汗だくで来てくれて、玄関に入るなり汗とチンカスで粘ついたチンポで犯してくれた。

「こういうこともあろうかと、たっぷりキンタマ汁、溜めてましたから♪」

「あぁあ…臭い…くっさいぃ…好き…♥オスチンポ大好き…愛してるぅ…♥」

玄関でレイプまがいのセックスをしたあと、ベッドでアナルセックス。肉体のマゾ快楽以上に、私の本当の願いが届いてことが嬉しかった。

「今日は上司と部下の関係もお休みにしましょう」

ナス君はそう言って私に目隠しをすると、顔の上にチンポを乗せた。

「僕を部下の男だと思わず、ただのチンポだと思って命令して下さい」

「え…？」

姿を見てしまえば、どうしても人間として接してしまう。だから名前を呼ぶのも禁止。彼は今、私の性欲に応えてくれる忠実なチンポ。

だけど私は、そのチンポを下僕扱いできなかった。むしろ、普段の彼には言えない言葉で懇願していた。

「あぁあ…チンポ…チンポさまぁ…♥好き…愛してます…♥お願いです、この変態マンコ女に、くっさいザーメンを排泄してください…私の汚いウンコ穴を犯してくださったおチンポ様にベロチュー奉仕させてくらさいぃ…っ♥」

視界がないことで、いやらしいニオイがより濃く感じられる。脳が白濁し勝手に奴隷屈服宣言をしてしまう。

「あぁ…今日も…全部ハメ撮りして…くださぃ…♥　おチンポさまぁ…♥」

この日を境に、私の休日は愛するおチンポ様への肉穴便所奉仕をたっぷり満喫できる大切な日となった。






本日は全国的に好天に恵まれました
祝日ですので行楽に出かける方も多いのではないでしょうか
この高気圧は週末まで停滞し…
ギシ…
はぁ…もうお昼かぁ…
せっかくの休日なのに何にもしてないなぁ
ずーっと忙しかったから
一気に疲れが来ちゃった感じ


起きようかな～
二度寝しようかな～
ゴろ
ゴろ
♪
別に予定もないし
丸一日ダラダラ
しようかな～
明日　疲れた顔して
出社しても、また
セクハラ言われる
だけだしなぁ
オイオイなに
ヘタレてんだぁ？
はっ　どーせ
休日もナスの野郎と
ヤリまくってたん
だろぉ？
帰ってずっとヤッてろYo!!
カーえーれ♪
カーえーれ♪
ドガ!オマエが帰れ!ドガ!
ドゴゃ!
ドゴゃ!
まあ　休日だけじゃ
なくてほぼ毎日
してるんだけど…
確かに　自分でも
呆れるくらい彼に
ハマっている
ヘンタイ
ちんぽ
ケツマンコ
正正正
中まで見て
でも顔を合わせて
身体に触れるだけで
いつの間にか
疲れなんか忘れて
クタクタになるまで…
そのかわり
一人になった途端
このザマなんだけど…
ナスくんには
こんな姿　見せられ
ないな～…
トン
トン

…いや

ドラマチャンネル

今日は彼のことを
考えるのも
お休みにして
のんびりドラマ
でも見ようかな

トッ

トッ

このままじゃ
また会いたくなる

ねえ　あなた…
抱いてよ…

ギシッ

そう　抱かれ
たくなって…
激しく犯され…

うわっ！

私　寂しいの…

仕事で
疲れているんだ
明日も早いし
勘弁してくれ

いきなり王道（ベタ）な昼ドラー！

…でも　もう
何か月も…ね

キミ　そんな
はしたない女
だったのか？

う…
ひ　ひどい…

……

仕事で疲れてる
から……か

若いころは
『この旦那冷たいな～』
なんて思ってたけど…

今は旦那さんの
気持ち　少し
分かる気がする…

そして　それは
きっと彼も同じ


ナス君も疲れてるはず…
年上の私が会いたいって 我儘を言うのはおかしいわよね
トクン
トクン
それに彼 付き合う前は私のことを想って毎日オナニーしてたんだもの
グチュ!
グチュ!
ダチュ!
今頃もきっと あのチンカスくさい熱く脈打ってるチンポを
こすって… キンタマ揉んで… なんども精液を…
ドプッ!
ドプッ!
ドプッ!
いっぱい… 射精して……
あぁ…ダメ 彼の事 考えないなんて無理
だってベッドにも部屋にも…
彼のニオイが染み込んでいるんだもの
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
ちゅくッ
ぬちゅッ
はっ
あぁ
あぁあ… ナスくぅん…♥
はっ
あっ


ああ 彼の汗ばんだ胸板
むわ…
あっ…あぁあ…っ ナスくんのニオイ…欲しい…っ♥
あッ
んあッ
グチュ! グチュ! グチュ!
むせ返るチンポ臭
むわ…
むわぁ…っ
引き締まったお尻の香り…たまらないっ
あんッ
ガタ
ガク
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ギシ
ギシ
でも…蒸れたキンタマが…
キンタマのニオイが一番好き…っ♥
あの日 私の脳の奥まで染めてしまったニオイ…
あぁ…ホントは一日中キンタマに埋もれて過ごしたいっ
むわ…
むわ…
むわ…


あぁん…ニオイだけで…こ こんなにおマンコ濡れるのっ♥
ぬぢゃッ♡
ねぇ ナスくん…見てっ そして…いつもみたいにスケベなこと言わせて…っ♥
見てっ♡
見てっ♡
ぞくっ!
ぞくっ!
ぞくんっ!
ぎゅララッ!
まんニっ♡
まんニっ♡
はぁん♡
あっ♡
んあっ♡


もっと　もっと…
ナスくんのくさい
ニオイ欲しい…っ♥
チンポ便器にしてっ♥
明日から…仕事中でも
いいからっ
はぁ　はぁ…
ナスくん…して…
トロ…
トロ…
休日にガマンしてたら
今日　我慢できなく
なっちゃったんですか
んぅ…んっ
そ　そうよ…
我慢なんかしたら
…余計欲しくなっ
ちゃった…
ナス
八潮課長は？
ちょっと
離席を…
あぁ…見られる…
バレちゃう…っ♥
あぁあ
おっぱいの中にっ！
中に出してっ！
グチュ！
グチュ！
グチュ！
会社でおっぱい
チンポ便器にしてっ♥
見て…おっぱい
マンコ…見られたいっ♥
ビクッ
ビクッ
イクッ
イクッ


もうどこでもいいの…キンタマせーえき…♥
犯して
犯して
ぬちゅっ
ぬちゅっ
男臭い精液ぶっかけて…っ♥
イクっ♥
あぁあ…イク…っ♥
ビクビク
ビクッ!
イックラッ♥
ガクガク
ビックゥン!!
はぁ…
はぁ…
そう…セックスしなくてもチンポの香りがあれば愛しい人を近くに感じられる
だからあの夫婦だってきっと大丈…

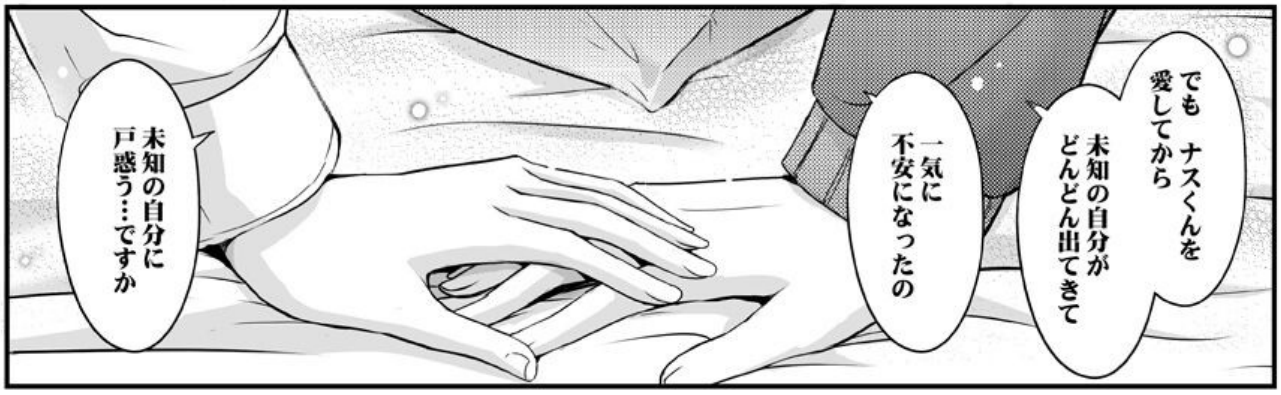

なんだこの間男は！
浮気しやがって
ええええ！
寂しかったのよ！
心の隙間を埋めて
くれる人が欲しかったの！
なにが心の隙間だ！
思いっきり身体の
穴じゃねえか！
ひどい！
セクハラ！
DV！
名誉棄損！
人権侵害！
慰謝料払え！
普段からATM
扱いして結局最後
まで金かよ！
どうせアンタだって
浮気してんでしょ！
何か月もゴミ箱に
センズリの形跡一つないなんて
おかしいじゃないの
な　何言って
ホラ図星じゃないの！
別の女の身体の穴にブチ
こんで借そうに被害者ヅラ
してんじゃないわよ！
被害者ヅラは
てめえだろ！


ぜ…
……
バーカ！
ヒッチ!!
ギャー！
サギ師！
金の亡者
短小！
ギャー！
売女！
ギャー！
何二のドラマ…
全然大丈夫じゃない…


HAHAHAHAHA
あはははなるほど
キー
何事かと。
それで緊急招集ですか


でも意外ですね
八潮さんが昼ドラに
影響されるなんて
あ　どうぞ
コレ
ありがとう…
うう…
私も自分に
ビックリしてる…
ごめんね…
でもね　自分が変わった
ことに戸惑うのは
これが初めてじゃないの
ちょっと…
怖いくらい何度も…
怖い？


あなたに会いたい
ずっと一緒に
世界中であなただけ
今すぐ
心が張り裂け
切なく
ドキドキ
例えば恋愛ドラマやラブソングで語られるシチュエーションに
『よく分かるわ』『貴女はそうなのね』
って『他人事』に感じてしまう性格だったの
以前 話したことがあったでしょう？
私『クールでイヤな女を目指してた』って
否定はしないけど感情移入もしない
私は私。
自分は関係無い。
自分だけは絶対大丈夫――。


でも ナスくんを愛してから
未知の自分がどんどん出てきて
一気に不安になったの
未知の自分に戸惑う…ですか


「私はこういう人間」と自信を持ってた防壁が一つ崩されると
『何もかもダメかも』
『他の人がこうならもしかして私も…』
――って
連鎖的に自信喪失していく気がして…


マズい…
それ 危ない宗教とか詐欺に引っかかる典型的なパターンじゃ…
ホントそうなのよね…
『変にまじめな人』こそ逆にあぶないって聞いたことあったけど
まさか自分がそうだとは…


でも――
きっと大丈夫ですよ


ドラマを見て
『キンタマ臭があれば大丈夫なのに』って独自の価値観を持ってる一方で
どスケベな露出セックス願望があっても
実際は気軽にキスしてるところすらも見せつけたりしない
むしろ「チンポをオモチャにしないで』って叱るくらい
『変にまじめ』なところも ちゃんと残ってる
僕には未知の自分によって「何かを失っている」というより
『器が拡がっている』ように見えます
す…
そんな貴女が大好きだから
未知の『八潮のどかさん』をもっと見たくなって
あ
ついつい変なことしちゃうんですけども
…ありがとう
クス♡


……これからもずっと…一緒に見てくれる？
どんどん変わっていく私を
もっともっと変態になっていく私を…
もちろんです
その役目　誰にも譲りませんから
……うん♥
八潮さん　お待ちかねの…くっさいキンタマですよ
あぁ…早くぅ…♥
むわぁあ…


じゃあ このまま
降ろしますよ
ギシ…ッ
あ
は
ぴと♥
あ…ま 待って
は♥
むわ…
先にチンカスフェラ
…しなくていいの？
ナスくん
あれ好きでしょ？
僕のことは
大丈夫です
今日は休んで
ください


あ…あぁ…あっ♥
おぁあ…♥
ぞくんッ
ぞくんッ
はぁあ…♥
普段のセックスでも
八潮さんは自分が
思っている以上に
僕に気を使って
くれているんですよ？
その気持ちが
嬉しいから いつもは
甘えていましたけど
今日は僕にご奉仕
させてください
ぬぢゃ
ぬぢゃ
ぬぢゃ
んっ んぅ…んっ♥
んぐっ
んぐぅ


いつもよりも
優しい動き…
キンタマの柔らかさ
だけじゃない
身体の重さ　お尻の
たくましさ…やっぱり
妄想（オナニー）の彼とは全然違う
あぁあ…
ナスく…ん…っ♥
あっ　はぁあ…っ
んぐ…あぁあっ
キンタマぁ…
きもち…いいい…っ♥
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ギシ
ギシ
むわ
むわ
むわ
いつも見ていた
はずなのに
感じていた
はずなのに
ずりゅっ
ずりゅっ
はぁ…はぁ…♥
くさい…
くさいのぉ…っ♥
ぬりゅ！
ぬりゅ！
あぁ…んっ♥
ビクッ！
ビクッ！
どくっ
どくっ
どくっ
ぎゅるるる…っ！
分かっていたつもり
だったからこそ
知らなかった
未知の彼
はぁ…
あぁ…っ♥
あぁ…不思議
ドキドキしてるのに…
落ち着いていく
くた…っ


八潮さん
起きてます？
むわ…
むわ…
うん…♥
すごく…
いいニオイ…
とろん…♥
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
トクン♥
トクン♥
トクン♥
はーい♥
はーい♥
はーい♥
アタマもカラダも
蒸れたチンポの
ニオイでとろけて…
イッちゃいそう…♥
トロ…
トロ…
トロ…
イッてもいいですよ
はぁ…ダメ…まだ…
イキたくないの…っ♥
でも 今日はまだ
これだけで満足
しちゃいけない
せっかくナスくんが
ご奉仕してくれる
んだもの…
ナスくん…
あの…
はい？
もっと…
後ろのほうも…
お…お尻の穴も…
キンタマより
濃いところも…
顔に…載せて
欲しいの…
トクン
トクン
トクン


お願い…
そこ
肛門だけは　今まで
言えなかったところ
近くて遠い
憧れの場所——
顔いっぱいにあなたの
ケツ穴を押し付けられて
無理やりキス…
させられたいの…♥
ゆばぁ…っ
わかりました
——よろこんで
苦しかったら
言ってくださいね
ギシ…
無理やり犯すとはいえ
あくまで今日は僕が
ご奉仕する日ですから
え…ええ…
ゆっくり…顔…
犯して…
むわ
むわ


はぁ はぁ はぁぁ…♥
あぁ…肛門…ナスくんの肛門…
ぐぐ…
ドキ
ドキ
ドキ
あ…あぁ…きた…♥
早く…早く…舐めさせて…
ぐぐ…っ
ドッ
ドッ
ドッ
うおぶ…っ♥んぼ…ぉおっ！
ぶちゅ
ビックン!!
あぁああすごいっ…♥くっ…臭くて…っいやらしいニオイ…っ♥
じゃあ動きますよ
ずりゅ
ぬりゅ
んぼっ！んホおオおっ♥
ずりゅ!
ぬりゅ!
んほおォおおっ♥
ずりゅ!
ぬりゅ!
たまらない…私…部下の男の子に…
ぬるん!
クソ穴に顔面犯されて…感じてるぅっ♥
んぶっ！
ぬぶりゅ!
んごっ♥
ぬるん!
あぁ なにこれ舌が…勝手に…っ
んほおおっ♥
にゅぢゃ
にゅぢゃ
にゅぢゃ
止まらない止まらないっ♥変態…ヘンタイぃっ！私っ ヘンタイすぎるよっぉおっ♥


見えるっ？
見てっ　見てっ♥
あなたの肛門…
ウンチ穴をしゃぶって
おマンコ感じてるっ♥
くあぁ　これ
最高です！
んぉっ
んぼおおっ♥
んぢゅっ！　んぶっ
んぢゅるうっっ♥
くあっ　これ…
ハマったら
まずいですよ
会社でも課長の
顔みただけでクソ穴
なめさせたくなるかも…
して…してぇっ！
むしろ…しないと
許さないんだから…っ
会社であなたに
命令されたい…っ♥
課長　今日は一日中
クソ穴なめるんですよ
は　はい…舐めます…
一日中　ううん…毎日…
マゾブタ上司の変態
口マンコにケツ穴
舐めさせて…ください…っ♥
く…　八潮さん
もう…っ！
私も　イク……
イクううっ！


くっ！
そのまま
口に……っ！
ぬるぬッ！
ぬばぁッ！
ぷは…あぁっ♥
きて…っ！
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ビュクッ♥
ビュクッ♥
んぁあああああっ♥
んぉ♥
んぼぉ♥
おぶッ♥
あぅ…チンポ
ちんぽぉ…っ♥
あぁ…イク…
イクぅっ♥
ドプッ！
ドプッ！
ドプッ！
すごい…私…
本物の肉便器…
もう妄想オナニー
じゃ全然足りない…
かけて♥
かけて♥
ビチャ！
ビチャ！
ビチャ！
ナマの変態精液
便器…最高…っ♥


八潮さん　今日は僕がご奉仕しますって言ったのに
結局　頑張っちゃいましたね
あは…そうね　つい
ニオイだけでもう　とまらなくなっちゃった…♥
にちゃ
にちゃ
にちゃ
にちゃ
はぁ
はぁ
あ
身体大丈夫ですか
うん…
あなたが優しく犯してくれたから気持ちよかったし
いつも以上の心遣いに身体も癒されたわ
ねばぢゃ
にぢゃっ
ぬぢゃ
ぬぢゃ
八潮さんを見習っただけですよ
ふふ　そんなこと言うと自惚れるわよ♥
じゃあこのあともたっぷり自惚れてください♪
ふふ　そうするわ♥
はぁ
はぁ
はぁ


え？ 本当に私は寝てるだけでいいの？
疲れならもう大丈夫だけど…
ええ でも エステに来たつもりで今日は楽にしておいてください
キシ…
むしろこういうご奉仕セックスって以前からしてみたかったんです
いや ご奉仕というより…マッサージセックスかな？
ズリュリュ…
あ…ん… ま… マッサージ？
ぐ…
ええ こうしてチンポ入れたまま指で…
この辺りをぐりぐりっ…と
ぐりっ
ぐりんっ
ピリ
え…っ？ あっ!?
お腹 気持ちいいですか？
ひあぁ… あぁぁっ!!


内側と外側から…
完全に受け身だと
案外　新鮮でしょ？
うぁあ…っ　やっ…♥
グリグリって…
んひゃぁああっ！
ビクッ！
ビクッ！
ぐにっ
ぐにっ
ぐちゅん！
ぐちゅん！
おまんこ…くにぐに
されてるぅ…ッ♥
やっ　あっ！
んひいいいっ♥
ビクッ！
ぐちゅん！
あひっ♥
おぁあっ！
こ　腰の動きも…
いつもと…違…っ
じっくり…
ねちねちって…
ぎゅッ
ぎゅうううっ！
強く…きつく
責められてるのに
や…優しい…っ♥
あぁっ
あっ　ぁあ…♥
あぁあ…それ
き　きもち…いいっ♥
嘘みたい…こんなに
ゆったりしてるのに
なんで…こんなに
…甘いの…っ？
変わってたんだ
ナスくんも私と
セックスを重ねて
どんどん未知の部分が
増えていたんだ
はッ
ぞくぞくぞくッ！
はぁっ
もっと…あぁ…
おマンコ…溶かしてっ♥
ギシ
ギシ
ガクガク
どぢゅッ！
ぐにゅ
ぐに
ぐに
ぐちゅ！
ぐちゅ！


そういえば
野球部時代
時々マッサージして
もらってたんですよ
ダラーっと寝転がって
完全に受け身で…
あれがすごく
気持ちよくて
はぁ…はぁ…
野球部時代って…
ニチャ
ニチャ
グチャ
グチャ
ギシ
ギシ
は
それ…誰にして
もらってたの？
ちゃ ちゃんとした
整体師の方ですよ
男の
心配なく。
でも こんな素敵な
オッパイした女性に
マッサージされてたら
くにゅん
くにゅん
んっ
あぃ
どうなってたか
分からないです
けどね♪
あっ！
あぅんっ！
ぬちゃ
ぺこん♡
ぺこん♡
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ふふ 私もエステで
こんなエッチな人に
マッサージされたら…
チンポ
ど…どうにか
なっちゃうかも…？
ちゅぱっ


どうかって…
こんな感じですか？
ゴツッ
ビクン!!
ひゃうんっ?!
あれ びっくりしました？
ずるい…よぉ…
ゆっくりセックス…するって言ってたのに…いきなり…
あはは すみません
じゃあ…また小さく小さく…たまにゴツンと
あ…んっ♥
あっ…♥
はぁ…っ♥
こういうリズム…どうですか？
ど…どうって…
ブル…ブル…
プシャッ
プシャッ
くちゅくちゅ
にちゃにちゃ
くちゅくちゅ
ダン!
ゴツン!
グボン!


フル…
はぁ
フル…
はぁ
わ わたヒ…
こんな顔してるのよ？
す…好きって言葉
以外…無いって…
分かってるでしょ…？
ぶちゅんッ!!
こう♪
ひやううっ！
ビクウウッ!!
愚問
でしたね♪
ひっ
あぁっ♥
すなうラッ
言葉以上に
おマンコから
伝わってきてます
あっ それ
…いいいっ♥
ゴルルルッ!!
ゆっくり
じらしてからの…
あーっ♥
あぁあーっ♥
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
あーッ
ゆっくり…
ゆっくり…それっ
あひんっ！
グチュ
グチュ
ゴッ!
リラックス
リラックス♪
ちょ…ナスく…
んひいいいっ♥
グチュ
グチュ
グチュン
グチュ
グチュ
ゴッ!
あっ
ビクビクビク!
あぁ
グチュ
グチュ
ゴッ!
ダメですよ
そんなに暴れちゃ…
ねっ！
ひぎっ
ゴッ
ゴッ
ゴッ!!
んほぁああっ
あひいいっ♥


もう…
もう…らめ…っ♥
ちんぽ
ちんぽ
じゃあイキます
一回目
グチュ
グチュ
ぐちゅん
ぐっちゅん!
お願い…
お願いよっ
出して 出してっ♥
イかせてぇっ♥
ぐちゅん!
ぐちゅん!
ズチュ
あ…ぁ…
何回…するの？
ズチュ
ぶちゅ!
ぶちゅ!
ぶちゅ!
八潮さんが
『もう疲れた』って
言うまでですよ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
あなたって…
ホントヒドイ人
出して…ここに♥
ちんぽ♥
ちんぽ♥
また口に…顔に…
排泄してぇ…っ♥
それじゃ終わりなんて
無いじゃないの…♥
ズル
ルルル!!


んごっ！
んごっ♥
んぶっ♥
ゴクッ♥
ゴクッ♥
ゴボッ
ゴボッ
ゴボッ
んんんん


また一つ
知らなかったこと…
ん…
はぃ
はぃ
見つけちゃった
はぃ
ずぶ…
ぐちゅ
ぐちゅ
こういう
セックスも…
いいですね
あっ
ぐぶっ
ぐぶっ
ぐぶっ
ぐぶっ
ぐぶっ
ぐぶっ
ええ…好き…♥
優しくて…
ヒドいの…好きぃ…
あぁ
あぁあ…すごい音
コレ…すごく…
クソ穴セックスって
感じ…♥
アナルセックスで
癒されるなんて…
私　また変態(オンナ)の器が
拡がっちゃったかな…
あっ　あぁあっ
きて…っ♥
せーえき浣腸…
クソ穴にチンポ
ザーメンっ！
ぶりっ
ぶりっ
ぶりっ
へひっ
へひっ
ちんぽ汁
出してぇえっ♥
イグッ
イグッ
ビクビクッ!!
くあっ！


ドボォッ!!
ドボッ
ドボッ
ドボッ


もう一度…
おしりに…させて…
お尻に…
何をですか？
…だから…
お尻に…キス…
いっぱい汗を
かいて 射精して
さっきより
ずっと臭くなってる
お尻で…
ケツ穴で…顔を
押しつぶして欲しいの
たぷん
たぷん
たぷん
今日 一番濃い
あなたのニオイを
胸いっぱいに…
――
わかりました
でも 次の休日は
僕にその悦びを
教えてくださいね
え
僕も 八潮さんの
ように器を大きく
したいから
ビキ
今夜は どんどん
変わっていく貴女に
魅了されっぱなしでした
むわ…
はぁ…はぁ…
トクン…
トクン…





休日って
本当に大事ね

こんなにも力が
わいてきて
こんなにも心が
潤うんだもの

初めてよ――
こんなにも明日が
楽しみな休日は




休日は、ゆっくりと二人の時間を――。
ナス君と愛し合い、チンポ肉便器になるまでは、休みの日には友達と外出したり、買い物したり、一人でゆっくりと読書や映画鑑賞、カフェ巡りなんかをしていた。
でも、今は違う。
彼とのハメ撮り動画を見ながら、ずっと極太バイブでおマンコやケツ穴を犯しながら一人マゾブタプレイに浸っている。
「はぁ…あぁ…チンポ…チンポ欲しい♥くさいオスチンポ…ドロドロの黄ばんだザーメン中出しされたい…♥」
どんなに太くて大きいバイブでも、やっぱり彼のチンカスまみれのエロチンポの味には遠く及ばない。
身体中にマゾブタ奴隷の証を落書きされた自分の映像に嫉妬してしまう。
「あぁあ…ナス君…犯してぇ…♥変態セックス動画、もっと撮っていいから…おマンコもウンコの穴まで全部さらけ出して、おしっこ漏らしてイクところ…くっさいキンタマ精液飲んでるところ見て…っ♥」
いっそ、呼び出して中出しを懇願してみようか――そんな想いが脳裏をかすめる。
いや、そんなのダメ。
部下のプライベートまで奪うなんて典型的なパワハラ。そんな上司にだけはなりたくない。
「でも…声を聞くだけなら…電話するだけなら…」
いつも通り彼の優しい声でスケベな事を『言わされたい』。
私のだらしないイキ声を聞いてもらって彼にもオナニーして欲しい。
「それくらいならいいよね？　一緒に…一緒にオナニーするだけだから…♥」



電話したら、彼はオナニーどころか、すぐに駆けつけてくれた。

私のために、息を切らして汗だくで来てくれて、玄関に入るなり汗とチンカスで粘ついたチンポで犯してくれた。

「こういうこともあろうかと、たっぷりキンタマ汁、溜めてましたから♪」

「あぁあ…臭い…くっさいぃ…好き…♥オスチンポ大好き…愛してるぅ…♥」

玄関でレイプまがいのセックスをしたあと、ベッドでアナルセックス。肉体のマゾ快楽以上に、私の本当の願いが届いてことが嬉しかった。

「今日は上司と部下の関係もお休みにしましょう」

ナス君はそう言って私に目隠しをすると、顔の上にチンポを乗せた。

「僕を部下の男だと思わず、ただのチンポだと思って命令して下さい」

「え…？」

姿を見てしまえば、どうしても人間として接してしまう。だから名前を呼ぶのも禁止。彼は今、私の性欲に応えてくれる忠実なチンポ。

だけど私は、そのチンポを下僕扱いできなかった。むしろ、普段の彼には言えない言葉で懇願していた。

「あぁあ…チンポ…チンポさまぁ…♥好き…愛してます…♥お願いです、この変態マンコ女に、くっさいザーメンを排泄してください…私の汚いウンコ穴を犯してくださったおチンポ様にベロチュー奉仕させてくらさいぃ…っ♥」

視界がないことで、いやらしいニオイがより濃く感じられる。脳が白濁し勝手に奴隷屈服宣言をしてしまう。

「あぁ…今日も…全部ハメ撮りして…ください…♥　おチンポさまぁ…♥」

この日を境に、私の休日は愛するおチンポ様への肉穴便所奉仕をたっぷり満喫できる大切な日となった。